

寒さの中にも春の気配が感じられる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

寒い日が続く、空気も乾燥しておりますので、体調管理と共に、火の元には十分お気をつけください。



これって、相談が必要ですか？

重伝建地区では、歴史的な町並みを保存するために、条例により地区内の建物(一般の住宅や物置などを含む)を修繕する場合には許可(現状変更行為許可申請)が必要です。その際には、お気軽に館長兼重伝建コーディネーター又は日本遺産活用室までご相談ください。

↓許可が必要となる事例

ケース① 屋根の葺き替え



屋根が傷んだのだが、修繕するにも相談が必要なの？

屋根の板金や瓦を全体的に葺き替える場合は、外観が変更されるため、許可が必要です(小規模な維持管理については、要相談)。



ケース② 建物外壁の塗り替え

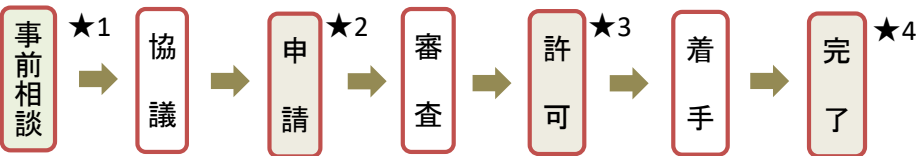


外壁の塗り替えをしたいのだけど、相談が必要なの？

外壁の塗り替えや下見板などの修繕を行う場合は、外観が変更されるため、許可が必要です(部分的な修繕は要相談)。



☆ 事前相談～許可～着手までの流れ(現状変更行為許可申請手続き) ☆



★1・・・事前相談により、内容をしっかりと詰めましょう。相談を重ねると、申請もスムーズです。

★4・・・速やかに完了届を出しましょう。完了写真など。

★2・・・申請書を提出します。地図・図面・写真など。 ※・・・変更が生じた場合には、事前相談を

★3・・・許可書が交付されたら、工事開始です。

してください。

本町通り(県道桐生田沼線)の道路のシミについて

歴史的な町並みとの調和を図り、整備された本町通りにおきまして、近頃シミなどの汚れが目立つ箇所が見受けられます。今後も美しい状態を保ち、皆さまに快適に歩いていただけるよう、例えばごみを出すとき、液(油等)が流れ出ないように気をつけたり、万が一、汚してしまったときには掃除をしていただくと助かります。



みなさまのご協力をお願いします。

令和8年3月29日(日)重伝建地区防災イベントを実施します。

桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区の建物や町並みを守り、住民の皆さまの大切なお住まいを火災から守るため、今年も防災イベントを実施いたします。

今年も、本町三丁目や横山町のみなさまや北小学校にも、お声掛けし、地域のみなさまで防災意識を高めることを目指します。

今回のメインイベントは実際の揺れを体験できる「起震車」や「豚汁の炊き出し」です。ぜひ、ご家族そろってご参加ください。

日時: 令和8年3月29日(日) 10時～11時30分(予定)

「小雨決行」

場所: まちなか交流館 (桐生市本町1丁目7番4号) 多目的広場

主催: 本町一・二丁目自主防災会・桐生市

内容: 消火器訓練・起震車・本一・本二まちづくりの会による豚汁の炊き出し(予定)

その他: 3月中旬頃に再度チラシでお知らせします。



NPO法人本一・本二まちづくりの会からのご案内

下記日程にて「まちの情報交換会」を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。
【まちの情報交換会】(令和7年度第5回)

日時: 令和8年2月18日(水) 18時30分～

場所: まちなか交流館(桐生市本町1丁目7番4号)

内容: 桐生工業高等学校生徒による建築甲子園優勝作品の発表(祝・二連覇)

お問合せ先: 本一・本二まちづくりの会理事長 齋藤直己(080-2488-6359)



まちなか交流館 開館1周年 記念講演会 開催報告書

～ 昨年7月に行われた講演会について報告します ～

- 1 **日時** 令和7年7月16日(水)午前10時00分から11時30分まで
- 2 **テーマ** 桐生新町の歴史的資源を生かしたまちづくりの可能性を考える
— 全国に広がるNIPPONIAの地域活性化事例を参考に —
- 3 **講師** 星野 新治 氏 (株式会社NOTE 取締役副社長)
- 4 **内容**



・はじめに

私は、新潟出身で現在は兵庫県丹波篠山市の重要伝統的建造物群保存地区に住んでいます。

今日は、丹波篠山の事例を通して、桐生新町の歴史的資源を活かした「100年まちづくり」の可能性について考えていきたいと思います。

・株式会社NOTEの概要と「100年まちづくり」

株式会社NOTEは「100年まちづくり」という考え方を提案しています。これは地域に古くからある歴史や文化を大切にしながら、100年先の未来まで続くまちづくりを目指すことです。

古民家や歴史的な町並み、そしてそこで育まれてきた文化を、単に「古いもの」としてではなく、「まちの宝物」として捉え、壊さずに長く大切に使い続けることが重要だと考えています。



NIPPONIAとは

NOTE

III NIPPONIA

NIPPONIAは、株式会社NOTEが展開する
「なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる」
ためのまちづくり事業です。

VISION
なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる。

MISSION
私たちは、歴史的建築物の活用を起点に、
その土地の歴史文化資産を尊重した
エリアマネジメントと持続可能なビジネスを実現します。

地域ごとに、思いをもとにするパートナーとともに地域まちづくり会社を作り、
その土地に残る歴史的建築物を活用した宿泊施設や店舗を作ります。

出典 株式会社NOTE 会社概要資料より

・「NIPPONIA」の理念と活動

「なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる。」をテーマに、古いものを大切にしながら、新たな社会システムを取り入れ、地域全体でまちづくりを行っています。単なるホテル開発にとどまらず、地域を持続可能にするための手段としてホテルを位置づけ、空き家を活用した宿泊施設、ギャラリー、ショップなどを「面」として配置し、地域の特徴や「生業(なりわい)」を創出しています。

・新しい観光と地域経済の循環

株式会社NOTEは、従来の日帰り観光ではなく、宿泊を通じてまちにじっくり滞在してもらう「滞在型観光」を推進しています。宿泊客を「1日からの住民」と捉え、地元の飲食店や商店での消費を促すことで、まちにお金落ち、経済を活性化させます。例えば、泊まった人は、地元の美味しい食材を使ったレストランで食事をしたり、伝統工芸品を扱うお店で買い物をしたり、地域の文化体験に参加したりします。そうすることで、地域全体が潤う仕組みです。建物の改修についても、歴史的な趣を残しつつ、今の生活に必要な最低限の機能追加に留め、将来的に別の用途で使えるように配慮しています。

・丹波篠山の成功事例

株式会社NOTEは、まち全体を計画的にプロデュースしています。空き家をただ貸すだけでなく、まちづくりの会社を作り、地域の戦略を立てて、空き家を宿やお店に変え、地域全体を魅力的にしています。

丹波篠山の城下町も、かつてはたくさんの空き家がありました。でも、それを壊さずに、NIPPONIAの分散型ホテルやレストラン、ショップ、オフィスなどに活用しました。フロント棟でチェックインしたら、古い長屋を改装した客室へ向かう。途中で、歴史ある和菓子屋さんなど、地元のお店に立ち寄ってもらう。こうすることで、街全体を楽しんでもらい、街にお金落ちる仕組みを作っています。宿泊施設の平均客室単価を安売りせず、適切な価値を提供することで地域に還元しています。

・まちの人たちとの協力体制

最初は「まちづくり」と言っても、全ての人々がすぐに理解してくれるわけではありませんでした。でも、少数のリーダーがまず行動を起こし、実際に事業が成功して、お客さんが訪れる姿が見え始めると、「ああ、これなら良いね」と、徐々に協力者が増えていきました。

5 まとめ

星野氏は、桐生新町が持つ歴史的資源は「本当に宝物」であることを改めて強調してくれました。この宝物を守り、次の世代に繋いでいくためには、単に保存するだけでなく、新しい仕事(生業)を生み出すことが不可欠です。観光をきっかけに、訪れる人に「1日からの住民」になってもらい、地域に滞在してもらうことで、新たな産業を創出し、地域全体を豊かにしていく必要があります。

また、「古民家ホテルを作っているのではなく、地域の文化を次世代に繋いでいる。」「観光地を作っているのではなく、観光地域を作っている。」と力強く語りました。そして「お客さんに見てもらいたいのは、地域の誇りや大切にされてきた文化そのものだ。」と述べました。

まちづくりは、地域に暮らす一人ひとりが新しい仕事や暮らしを考え、生み出していくことが求められます。そのためには、まちづくり会社のような組織を作り、みんなで協力して計画を立て、それを着実に実行していくことが重要だというメッセージで講演を締めくくりました。

6 結び

重伝建地区は選定後13年を経過し、まちなか交流館の開館や本町通りの整備により、景観が整ったところ。さらに魅力的な場所となるよう、地域住民、事業者、行政が一体となって、重伝建地区を盛り上げていきましょう。皆様のお力添えのほど、心よりお願い申し上げます。